

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校だより 28【11月号①】

ともに



平成 29 年 11 月 1 日発行 《文責》 校長：濱崎 豊治 副校長：北村 征一郎

「新たな物語はじまる」第4回芦刈観瀾校文化発表会



10月29日(日)の「小城市フリー観覧デー」は、「芦刈観瀾校第4回文化発表会」を開催しました。保護者や地域、関係機関の皆様におかれましては、御多忙中、多くの御参観を賜りありがとうございました。このスローガンの看板は、文化部の生徒が願いを込めて制作しました。看板にある花は、1年生から9年生までを表し、青い鳥とクローバーは、観瀾校に幸せをもたらすように、木の枝は長く描き、観瀾校の物語がこれからも長く続くようにとの意味があります。毎年素敵な看板を制作してくれる文化部ですが、今年もさらに素晴らしい作品が仕上がりました。

文化発表会は、ステージ発表と展示発表、物販や中学部合唱コンクール等があり、学年別の様々な発表や交流、実行委員会や生徒会の御世話等、子ども達のがんばりと一体感に大きな感動をもらいました。また、今年から1年生から4年生も発表し、まさに観瀾校全体で「ともに」創る笑顔あふれる文化発表会となりました。1年生から9年生までの子ども達の姿から、9年間の育ちや学年の特性、発達段階等も感じることもできました。このような大きな行事で子ども達をさらに育てていくためには、本番に至るまでのプロセス(過程)がとても大切なのですが、一つ一つの課題を学年や学級、グループ、個人で乗り越えていながら、スローガンを見事に体現した素敵な学校行事となりました。ひとまわり大きく、そしてたくましく成長していく子ども達の姿を実感し、とても嬉しく思います。子ども達に心から拍手を送るとともに、日頃から温かく見守り支えていただいている保護者や地域、関係機関の皆様のおかげで、今年度も無事に文化発表会を開催することができましたこと心から感謝を申し上げます。全てを紹介できないのが残念ですが、主な発表や展示等を御紹介します。裏面は「写真集」としてしています。

【ステージ発表の部】

◆オープニングレモニー「シルエットニューストリー」(実行委員会)

今年は「影絵」でスローガンに込められたメッセージを閉会せしめにも合わせて見事に表現しました。

◆中学部「英語暗唱」(7.8.9年生代表)

先日開催された地区審査会出場者の素晴らしい暗唱に感じ入りました。

◆小学部「少年少女の声」(6年生代表)

「相手の立場になって考える心」と願ひ、11月25日(土)に市で開催される大会に向け頑張っています。

◆7年生 UD学習発表「みんなが違ってみんないい」

総合的な学習での学びをアイデアを生かした創作劇で表現し、UDを心でしっかりと伝えました。

◆8年生 劇「不思議の国の・・・」

迫真の演技。みんなで力を合わせた頑張り、来年は一貫校の最上級生となる確かな成長を感じました。

◆1.2年生 合唱「芦刈少年少女冒険隊」

躍動的でかわいらしいダンスと明るく元気な歌声に会場が一気にヒートアップ。

◆3.4年生 合唱「花は咲く」

伸びやかでパワーのある歌声で被災された多くの方々に元気を届けました。

◆5年生合唱「ありがとうの花、世界が一つになるまで」

二部合唱にも挑戦し、みんなのまとまりを感じる清々しい発表でした。

◆教え愛「部活動紹介」(生徒会)

生徒会活動の目玉である小中間の温かい交流を文化発表会でも実現しました。

◆6年生 平和学習発表「私たちが平和を広げよう」

小学部最上級生にふさわしい気持ちの入った堂々たる発表でした。

◆文化部合唱「虹」

NHK合唱コンクールで披露した質の高い素晴らしい合唱に皆がうっとり。

◆中学部「合唱コンクール」

各学級の一体感とこれまでの努力を感じました。心を一つにした歌声が体育館に響き渡りました。

◆9年生 劇「ラストチャンスは2度やってく」

50分もの長編を学年全体で見事に表現。「さすが9年生！」の笑顔あふれる姿に感動と感謝。

【展示発表の部等】

※一部紹介(この他に、各学年掲示板等にも習字や絵画、新聞・工作等を展示)

●UD新聞(7年生)

●職場体験レポート(8年生)

●School Trip(9年生)

●絆の証(文化部)モザイクアート



【物販販売・のびのび学級】

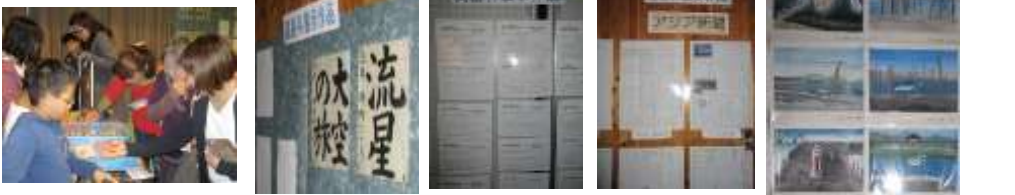
心を込めて作った楽しい様子の祝い書、マグネット、ポットティッシュカバーを販売し、今年も大盛況でした。

●七夕製作入賞作品(国語科)

●日本文化紹介(英語科)

●アジア新聞(社会科)

●芦刈の風景(美術科)



第4回芦刈観瀾校文化発表会 写真集

